

Rotary International District 2630 2018-2019

月信 MONTHLY REPORT

ガバナー



インスピレーションに
なろう

国際ロータリー 第2630地区
2018-2019年度
ガバナー 木村 静之

April
2019
Vol.10



宵宮 ～岐阜まつり～

CONTENTS

- ロータリーの基本理念P2
2018-19年度 ガバナー 木村 静之
- インターアクトについてP3
インターアクト部門委員会委員長 布目 美智男
- ローターアクトについてP4
ローターアクト小委員会委員長 伊藤 正純
- 青少年交換部門委員会報告P5
- 竹腰パストガバナー追悼文
岐阜南ロータリークラブ会長 近藤 大樹
- グローバル補助金(G.G.)タイ国第3330地区 事業レポート P6
～タイの3つの学校に浄水設備を設置～
地区奉仕プロジェクト部門委員会委員長 宮崎 弘夫
- グローバル補助金(G.G.)タイ国第3350地区 事業レポート P7
奉仕プロジェクト部門国際奉仕小委員会委員長 篠原 一行
- 鳥羽ロータリークラブ創立55周年記念事業 P8
各務原中央ロータリークラブ創立30周年式典
- 社会奉仕小委員会報告 P9
社会奉仕小委員会委員長 河野 等
文庫通信
- 2月度出席報告 P10
- 会員動静報告 P11
- 2019年会長エレクト研修セミナー(PETS)開催 P12
各事務所の案内

第2630地区のHPIは
スマートフォンでも
ご覧いただけます





ロータリーの基本理念

2018-19年度 ガバナー

木村 静之

3月には「会長エレクト研修セミナー」が開かれ、4月には「地区研修・協議会」が開かれ、次年度に向けての準備が着々と進められています。しかし今期はまだ3か月あります。地区75クラブ全体の会員増強の状況は、2月末で純増91名となっており、各クラブともたいへん増強のご努力をいただいております。各クラブの会長さんとは、公式訪問の際に懇談をさせていただきましたが、改めて、ロータリーの奉仕の理念を広め、活性化させ、さらに奉仕の輪を広げるために、クラブの会員基盤を整えることを強調したいと思います。「人づくりのロータリー」と言われるように、奉仕活動や例会を通じて会員の意欲を高め、素晴らしいロータリアンを育てていくことがクラブリーダーの役目です。

さて、第2680地区の深川純一パストガバナーがこの1月に逝去され、4月に兵庫県伊丹市でお別れの会が開かれると聞きました。氏は、ロータリーの歴史からロータリーの理念を説く日本の中心的な存在で、特に、A.F. シェルドンの理論をわかりやすく説いておられ、その著書はよく引用されています。著書「純ちゃんのコーナー」などには次のようなことが書かれています。

*

- ・「職業奉仕」という言葉が現れたのは1927年 RI 理事会であるが、職業奉仕の原理はすでに1907年、A.F. シェルドンによって生まれていた。
- ・「一業種一会員制の原則」は親睦のためのものであったが、これが奉仕のための原則

として理論構成され、「規則的例会出席の原則」も、単に親睦のためのものから奉仕を目的とするものと考えられるようになった。

- ・例会には「発想の交換機能」(Exchange of Idea)があり、ロータリアンは例会出席の重要性を強く認識して、例会において自己研鑽・切磋琢磨による企業経営上のアイデアの交換、発想の交換をしていた。その原理が1927年になって職業奉仕と名付けられた。
- ・1929年の大恐慌でロータリアンは一人も倒産しなかった。これは職業奉仕を自らの企業に実践していた功德である。「一業種一会員制の原則」と「規則的例会出席の原則」は職業奉仕実践の基本前提であり、職業奉仕の実践は、まず例会出席から始まるのである。
- ・ロータリーは、人類文化史が20世紀の時代に刻印を打った職業人の最も優れた倫理運動である。

*

このような、ロータリーの倫理運動としての発展の歴史は、今日あまり語られなくなっています。ロータリーでいま最も大切にされることは「世界でよいことをしよう」であり、もちろん、人道的奉仕として貧しい地域に援助することは大いにやるべきであると思いますが、ロータリーのもとには職業奉仕の実践であり、例会出席にあったこと、そしてロータリーは倫理運動体であったことを忘れてたくありません。

インターアクトについて



インターアクト部門委員会委員長 布目 美智男

2630地区の会員の皆さんには、いつもインターアクトクラブの活動に対して、ご理解とご支援をしていただき、そのおかげでインターアクトクラブの年次大会や地区協議会、韓国派遣による国際交流などの事業を行うことができました。本当にありがとうございます。

また、この度は月信に記事を記載できる機会をいただいたことに感謝申し上げます。

しかしながら、インターアクトクラブについてご存じない方もいらっしゃると思いますので、インターアクトクラブの説明をさせていただきます。

インターアクトとは、国際ロータリーの青少年育成プログラムです。奉仕と国際理解に貢献する世界的友好精神の中でともに活動する機会を青少年に与えるために結成されるのが、インターアクトクラブであり、その活動を支援するとともに、指導・助言・監督するのがスポンサークラブです。世界の159ヵ国に存在し、インターアクトクラブ数は20,372クラブ、インターアクターは468,556人 12歳から18歳までの青少年が活動しています。

日本においては、ボランティア系のクラブ活動（部活動）としておかれることが一般的ですが、生徒会活動として取り組んで、全校生徒で活動している学校もあります。

インターアクトについての詳しい説明は、MYROTARYやインターネットの検索サイトにもありますのでご覧ください。

現在、国際ロータリー2630地区には、37の高校にインターアクトクラブがあり、34のスポンサークラブに支援をいただいております。その中でも、伊勢RC・四日市RC・上野RCは複数のインターアクトクラブを支援しておられます。また、益田清風高校インターアクトクラブは、下呂RC・高山中央RCが支援して見えます。

各インターアクトクラブでは、インターアクトの目標に従い、活動を行っております。

ポリオ撲滅のための募金活動やペットボトルのキャップの回収活動、被災した地域への募金活動や救済物資を収集して被災地に送ったり、介護施設や障がい者施設への慰問、公園などの公共施設の清掃活動などのボランティア活動。

国際交流事業としての、全国英語ディベート大会への参加、韓国派遣、アジア・アフリカ救済衣料活動、卒業生の体育館シューズをコートジボワールへ寄付するという事業も行われています。ここでは紹介しきれない、地域や社会情勢に合わせた奉仕活動を行っていますが、残念に思われることは、インターアクト地区研修協議会に参加させていただき、インターアクターの活動報告を見聞きする中で、この活動を支援しているロータリアンがインターアクターと一緒に汗を流す姿が少ないということを感じました。

もう一つ感じているのは、インターアクトクラブの存在や活動の実態が、あまり認知されていないのではないかと思われることです。

どうか、インターアクトクラブとスポンサーロータリークラブの皆さんが協働していただき、お互いに活動や存在を多くの方にアピールしていただきますようお願いいたします。

もう一つお願いがあります。現在2630地区には8年前にインターアクトクラブが創立されて以来、新しいインターアクトクラブが誕生しておりません。

大学入試の試験方法が変わるなか、高校生がどんな学生生活を過ごしてきたかを問われるようになっていきます。その中でどんな奉仕活動、ボランティア活動をしてきたか、国際交流の経験があるかが重要になってきています。ぜひとも、ロータリーの力で高校生にボランティア活動や国際交流の機会を与えて下さい。今こそ社会が、学校がインターアクトクラブを求められているのではないかと考えてなりません。

スポンサークラブになっていただける、ロータリークラブの支援を当委員会で行ってまいりますので、ご検討いただきますようお願いいたします。

ローターアクトについて



ローターアクト小委員会委員長 伊藤 正純

ローターアクト小委員会委員長を拝命致しまして、2期目となりました。宜しくお願い致します。

ローターアクト提唱クラブ以外のロータリアンは聞いた事はあるけど、あまり馴染みが無いと思いますのでまずローターアクトクラブについて、簡単に御紹介をさせていただきます。ローターアクトクラブは1968年アメリカに発足されました。ローターアクトクラブは、今年で51年を迎える歴史のある青少年奉仕部門事業です。

目的として①専門技術及び指導能力を開発すること。②他人の権利を尊重する観念を養いあらゆる有能な職業の道徳的水準及び品位を保持し推進すること。③若い人々に地域社会をはじめ世界社会のニーズ及び懸念事項を提起する機会を提供すること。④提唱RCと協力して活動に当たる機会を提供すること。⑤RCにおける将来の会員として若い人々の意欲を喚起すること。

会員資格として、18歳～30歳までの青年男女を対象としています。

それでは、本地区ローターアクトクラブの現状報告をさせていただきます。

本地区には地域社会を基盤とするRACと大学を基盤とするRACの2種類、計7クラブがあり内、2クラブが大学基盤のクラブで社会基盤のクラブは6社から30名の企業派遣をいただいております。

クラブ名	提唱クラブ名	創立日	会員数(人)	
大垣西RAC	大垣西RC	1973.11.24	5	7クラブ 会員数計：71人
四日市RAC	四日市RC	1975.03.21	4	
松阪RAC	松阪RC・松阪東RC	1976.07.21	4	
本巣RAC	本巣RC	2012.06.16	23	
鈴鹿西RAC	鈴鹿西RC	2012.09.15	8	
四日市大学RAC	四日市5グループRC	2015.07.10	14	
岐阜聖徳学園RAC	岐阜南RC	2017.02.10	13	

* 2018.09.30 現在

活動内容として、各クラブが月2回RC例会の様に点鐘から始め例会を行っています。クラブのなかには卓話にロータリアンをお招きして講師をしていただいているクラブもあります。

他に地元を中心に提唱RCと共同で自然環境・募金活動・福祉関係等、様々な奉仕活動を行っています。

年に1回、アジア大会・全国大会・年次大会も開催され他地区ローターアクトクラブとの意見交換や親睦交流も行われています。

表を見てお解りの様に歴史のあるクラブ程、会員の減少が進んでおります。

インターアクト提唱のRCは沢山ありますがローターアクト提唱のRCは、本地区75RC中11クラブしか無いのが現状です。まだまだローターアクトの認知度が低いのが現状で、ここ近年では地区インターアクト事業とRC地区大会にも参加してローターアクトクラブのPRをさせていただきます。

最近ではRIが、ローターアクトクラブ賞を開設されました。

ローアクトクラブは、青年男女を育てる『学びの道場』です。

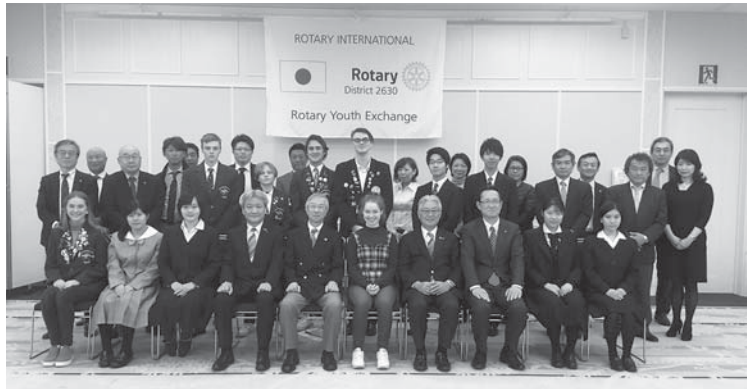
是非、新しいローターアクトクラブの設立と企業派遣で新入会員の御紹介を宜しくお願い申し上げます。

青少年交換部門委員会報告

2月24日のオリエンテーションに、2017.1 - 18.1の間、三重県に留学し現在シドニー大学在籍のブリジットさんが参加してくれました。

インバウンド学生には学校生活について、アウトバウンド学生には英語スピーチについて指導を頂きました。

学生達には、とっても刺激的で、将来の目標を得ることのできる一日になったと思います。



追悼文

パストガバナー故竹腰兼壽様 2019年2月11日ご逝去



謹んで岐阜南ロータリークラブ会員故竹腰兼壽さんにお別れの言葉を申し上げます。

あなたは、1975年、岐阜南ロータリークラブにご入会以来、44年の長きにわたり、クラブ会員、地区役員として多大なるご貢献をされました。1991年にはクラブ会長、92年には地区ロータリー財団委員長、2004年には国際ロータリー2630地区ガバナーと次々と重責を果たしてこられました。

またガバナーを退任された後もロータリー財団のゾーンコーディネーターを4期、RI会長代理を3回、RI規定審議会代表議員を2期務められ、日本国内だけではなく世界を舞台にご活躍をされましたことは我々岐阜南ロータリークラブ会員にとりまして大きな誇りとなっています。

一方、ホームクラブに戻れば、親しみ易く優しい大先輩として大所高所から、温かなご指導を賜りました。会員卓話を幾度も快く引き受けられ、そのたびに私どもにロータリーのあるべき姿をわかりやすく説いて下さいましたことは一番の思い出であり財産であります。

3年前には、クラブの親睦委員長をご高齢にもかかわらず自ら引き受けられ、竹腰さんならではの顔の広さで全国のロータリアンをご紹介頂き、会員も楽しく充実した1年間を過ごさせて頂きました。

私が竹腰さんと最後にお話することが出来たのは、昨年11月に開催されましたパスト会長会を兼ねた「竹腰さんを囲む会」の折です。療養中でありながらその時にご自身で製本された「ロータリアンこれだけは」という冊子を皆に提供し、これを使って日頃の例会で全会員に理解を深めて欲しいと要望されました。最後までロータリーへの情熱を絶やさないそのお姿にひと安心していた矢先の事でした。

私達はあなたが身をもって教えてくださったロータリーの精神を受け継いで奉仕の理想に邁進することをお誓いして、ここにお別れの言葉といたします。ありがとう竹腰さん、そしてさようなら竹腰さん。

平成31年2月15日

岐阜南ロータリークラブ 会長 近藤 大樹

グローバル補助金（G.G.）タイ国第 3330 地区 事業レポート

～タイの 3 つの学校に浄水設備を設置～

地区奉仕プロジェクト部門委員会委員長 宮崎 弘夫



約 2 年半前、私が奉仕プロジェクト部門委員長に就き、辻ガバナーエレクトが当時の新財団委員長に就任された時、私は「この第 2630 地区のクラブが世界で良いことをするために、何のストレスもなくグローバル補助金（G.G.）制度を利用した国際奉仕活動ができるよう浸透させたい。そのためには地区ロータリー財団のご協力が必要です。是非ご協力を。」とお願いし、新財団

委員長から快く賛同をいただきました。それ以後、私たちは自ら、そして他から多くを学び実践することで経験を積んでまいりました。

まず G.G. に詳しい第 2500 地区財団部門からアドバイスを頂き、目的を「クラブが G.G. 事業を自ら進んで行おうとする基盤を整えるための活動」として出発しました。今回の G.G. 事業の内容は、重点分野のうち「水と衛生」に関するもので、タイ国第 3330 地区内クラブにおいて、3 カ所の学校に浄水器を設置する事業です。この事業は単に機器を設置するだけに留まらず、メンテナンス及び維持を永続的に持続できるようなシステムを築き上げることを大きな目標とするよう、実施国クラブに条件提示を行いました。財団本部から GG # 1748745 の受付番号が与えられ、本格的な事業のスタートとなりました。

その後紆余曲折、実施国のクラブ RC には財団本部から厳しい問い合わせや要求があったそうですが、約 10 ヶ月後に財団本部から「おめでとう、あなた方のプロジェクトに財団資金の拠出が認められました」とメールがあった時のことは今でも忘れません。事業資金は、第 2630 地区 DDF から 10,000 ドル、第 3330 地区 DDF から 4,500 ドル、クラブ RC から 1,000 ドル、WF から 15,000 ドルが拠出され、総事業費 30,500 ドルの事業となりました。

今回、この浄水器設置事業がほぼ完成し、2019 年 2 月 9 日と 11 日、木村ガバナー・剣田パストガバナー・田山パストガバナー・委員会メンバーとともに現地での完成引渡式に参加しました。今回の事業は、第 2630 地区内のクラブの今後の国際奉仕活動にとって大きな出発点になると思います。

人々は、自分が生活する、又は生きながらえる地域が最も幸せな場所だと感じていることは間違いありません。その姿を遠くから見て不幸だとか貧困だとか決めつけ、そこに住む人々の思いや土地々々の文化を知らずして、事業ありきの支援をしようとする気持ちや行動に馳せることは十分に考えなければならないことです。事業ありきではなく、奉仕は相手への「愛」から始めるのが理想と当時の辻財団委員長から教わりました。私は今回の完成式典への参加で改めて、相互の「愛」を確認できたことが GG # 1748745 のゴールだと感じました。事業に携わりそして見守っていただいた地区内外の多くの方々に感謝申し上げて事業の報告といたします。ありがとうございました。



グローバル補助金（G.G.）タイ国第 3350 地区 事業レポート

奉仕プロジェクト部門国際奉仕小委員会委員長 篠原 一行

私たち地区奉仕プロジェクト部門国際奉仕小委員会は、昨年より第 3350 地区との「基本的教育と識字率向上プロジェクト事業」を進めて参りました。地区内 3RC（多治見リバーサイド RC・美濃加茂 RC・鈴鹿ベイ RC）と、バンコクシーロム RC との共同プロジェクト事業です。総予算 86,516 US ドル（約 960 万円）です。地方の田舎の学校 88 校に識字図書等の教材支援事業及び指導する教員指導プログラム事業です。



昨年 2 月より 3350 地区との協議を初め、5 月に申請書（GG # 1870363）を提出、何度も修正を重ねた末 8 月に許可が下りて実施してまいりました。3330 地区 3360 地区も加えて多くのクラブに賛同して頂き大きな事業となりました。お互いメールでのやり取りは全て英語、グーグル翻訳も最大限活用させて頂きました。各学校への配布も昨年末には終わり、12 月から教員指導プログラム事業が何か所で行われてきました。



それを受けて 2 月 8 日から 11 日まで、木村 DG・劔田 PDG・田山 PDG・宮崎奉仕プロジェクト委員長・勝川委員・野地委員・そして各クラブのメンバーと共に視察に、セントレアから一路バンコクスワンナプーム空港へ、早朝にも関わらず搭乗出口では PDG Kasemchai さんを初め 3350 地区の多くのロータリーメンバーの出迎えを受けました。総勢 4 台の車で完成式典引き渡しセレモニー会場へ向かいました。

午前中は Ratchaburi 県 Banpong の Training site にて教員指導プログラムの見学、午後からセレモニーに出席させて頂きました。大きな会場で総勢 500 人位、ロータリー関係・学校関係・地域の方々など多くの人たちのおもてなしを受けました。支援国代表として木村ガバナーが英語でスピーチ、そして私たちの皆にも其々記念品を頂きました。地方テレビ局の取材もガバナーと共に受けました。その後、実際に教材等を贈った学校にも訪問、行く先々では多くのロータリアン、先生たち、地域の人たちの歓迎を受けました。ロータリアンである誇りを、皆が感じたことと思います。

今回の訪問を通して、G.G. の素晴らしさを改めて感じました。相手クラブと一緒にあって共に未来のために苦勞して事業を進めること、そして現地の方々から喜んで頂く姿にとっても感動しました。ちょっとだけ良い気分になること、色々な人に出会い語り合うことに大変意義があると思います。世界には私たちの支援を待っている人たちが大勢います。補助金ありきではなく、人や地域への愛情をもって素晴らしい国際奉仕活動を見つけて頂き、愛情を世界に発信して欲しいと思います。

最後に地区内外の多くの方々に大変お世話になりました。多くの方々に感謝を申し上げてご報告とさせて頂きます。本当にありがとうございました。



鳥羽ロータリークラブ創立 55 周年記念事業

開催日時 2019年2月6日(水) 11:00～11:30
場 所 鳥羽市民の森公園 ガリバー滑り台前

鳥羽ロータリークラブ第55期の周年事業として、鳥羽市民の森公園にある遊具「ガリバー滑り台」の修復及び周辺の整備、小型遊具二基も近くに配備しました。ガリバー遊具は佐田浜に係留されていた「ぶらじる丸」から85年に鳥羽市に寄贈され、現在地に移設されました。最近



は破損箇所も目立ち、鳥羽市長より補修の要請を受け、事業として取り組みました。近年子ども達がゲーム等で家に籠る現状の改善として、野外で健康的に触れ合い、家族や友達との絆を育み、少しでも未来の子ども達の健やかな成長に貢献できればと考えました。当日記念事業セレモニーは、雨の中開催しましたが、ロータリーメンバー、鳥羽市長、鳥羽教育長にご参加を頂きました。修復工事は、クラブ会員中村土木にお願いし、画家野村照輝様のご指導により素晴らしい出来栄えになり感謝しております。恵みの雨で合羽を着ながらの準備等で一層絆も深まり思い出に残る一日でした。

各務原中央ロータリークラブ創立 30 周年

式典開催日 2019年3月3日(日)
場 所 各務原市産業文化センター

各務原中央ロータリークラブ30周年式典を2019年3月3日(日)各務原市産業文化センターにて、木村静之ガバナーを始め来賓、RC関係者60余名にて挙行了しました。今回、周年での事業目的としては「補助金など公金の行き届きづらい小規模事業者、NPO法人に対し、事業運営と継続の一助となる有効的・効果的な寄付を実施し、地域社会に貢献するもの」を主眼に、障がい者支援はじめ社会参画を促す公共福祉に資する事業を展開する4つの団体及び事業者を対象とし、金銭ではなく各施設が必要とする物品の寄贈を行いました。寄贈品の一部には、耕運機、電子キーボード、3Dプリンター、プロジェクター、蚊帳付テント、空気清浄器等、入



所者や通所者にとって社会への適応するための大事な物品が多く要望され、各施設の入所者等に対する努力、思いを実感しています。クラブ創立30周年を機会にこれらの品々が、社会復帰に努力される方々への一歩、一助になれば私共各務原中央RCにとって最高の30周年になると確信する思いです。

社会奉仕小委員会報告

社会奉仕小委員会委員長 河野 等

10月13日、14日に開催された2018年度地区大会で社会奉仕小委員会は災害募金を行い15,000円の寄付金を集めることができました。

熊野のミカンも味わっていただいたことと存じます。

Polio + 募金に圧倒され予想外に金額も少額だったため、いろいろ配慮の結果、2019年2月4日広島県安芸郡熊野町の被災地に直接お送りすることにいたしました。

相変わらず西日本豪雨の爪痕は残されており復旧はままならない状況です。

今後、委員として募金活動を行ったときには西日本豪雨を中心に支援していきたいと考えています。

皆様のご協力に感謝します。

文庫通信 375号

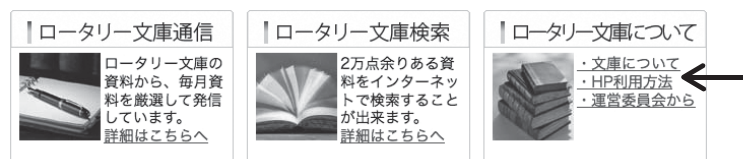
ロータリー文庫通信 375号 2019年2月 シェルドン特集

ロータリー精神の中核である「奉仕の理念」(The ideal of service)は時代と共に深化してきました。アーサー F. シェルドンが提唱した「He profits most who serves best」は、初期のロータリーの奉仕理念の原点であり、ロータリーの一つのモットーとして今も受け継がれています。この標語の意味について、シェルドン自らが書いた「The meaning of the motto」という著作を、田中毅 PDG が先ごろシェルドン監修の月刊誌「Business Philosopher」から発見しました。「The Gate」と共に紹介し、併せてこの著作の田中毅 PDG の翻訳と、シェルドンに関する多くの著作の中から最近の2編をご紹介します。

書名	著者 / 出版社	発行年	頁	
The meaning of the motto (The Business Philosopher 1920年12月号)	Arthur Frederick Sheldon シェルドン出版社	1920	8P	※
モットー「He profits most who Serves best」の真意	アーサー F. シェルドン 著 ；田中毅 訳 -	2019	6P	※
The Gate (The Business Philosopher 1922年11月号)	Arthur Frederick Sheldon シェルドン出版社	1922	2P	※
The Gate 入口	アーサー F. シェルドン 著 ；田中毅 訳 -	2019	3P	※
シェルドンの森を巡る旅 経営学に基づく奉仕理念	田中毅 源流の会	2017	136P	※
シェルドンのすべて	田中毅 -	2019	12P	※

上記 ※印はデジタル化されている資料です。

*資料の検索は文庫ホームページから <http://www.rotary-bunko.gr.jp>



トップページには三つの窓があります。上記矢印「HP利用方法」をクリックしていただきますと、「ホームページの利用方法」というPDFが表示されます。

ここには1999年2月ホームページ開設以来、データベース化された全ての資料の検索方法が書かれています。

尚、過去の文庫通信一覧については、左窓の「詳細はこちらへ」をクリックしてください。

国際ロータリー 第2630地区 出席報告

2019年2月分

グループ	クラブ	出席率	例会数	会 員 数				期首からの増減	
				期首	うち女性	月末	うち女性	増	減
桑 名 員	桑 名	96.82	3	41	0	42	0	1	0
	桑 名 西	79.28	3	35	0	37	0	2	0
	桑 名 中央	77.03	3	27	1	31	1	4	0
	桑 名 北	98.44	4	32	8	32	8	0	0
	グループ計(4)	87.89		135	9	142	9	7	0
四 日 市	四 日 市	96.89	4	92	0	96	0	8	4
	四 日 市 北	80.28	4	22	5	23	5	1	0
	四 日 市 西	93.93	4	68	4	70	4	3	1
	四 日 市 南	78.37	4	37	3	39	4	2	0
	四 日 市 東	100.00	3	39	1	38	1	0	1
	グループ計(5)	89.89		258	13	266	14	14	6
鈴 鹿 亀 山	鈴 鹿	65.77	4	66	8	67	9	4	3
	鈴 鹿 西	71.82	3	40	7	40	7	1	1
	鈴 鹿 ベイ	69.23	2	12	0	13	0	1	0
	亀 山	58.49	3	14	0	13	0	0	1
	鈴鹿シティ	72.79	4	64	4	68	4	5	1
グループ計(5)	67.62		196	19	201	20	11	6	
中 勢 ・ 伊 賀	津	93.94	4	65	0	68	0	4	1
	上 野	96.73	4	40	1	42	2	4	2
	名 張	99.05	3	36	2	36	2	1	1
	津 南	92.95	3	49	2	52	2	3	0
	津 北	81.61	4	40	3	45	4	7	2
	上 野 東	100.00	4	40	3	40	3	0	0
	久 居	88.79	3	27	1	27	1	0	0
	名張中央	84.29	4	22	1	23	1	1	0
	グループ計(8)	92.17		319	13	333	15	20	6
松 阪 ・ 東 紀 州	松 阪	87.81	4	78	0	80	0	2	0
	松 阪 東	81.60	3	56	11	58	11	2	0
	熊 野	59.02	4	35	5	36	5	1	0
	尾 鷲	37.36	4	12	2	14	2	2	0
	松 阪 山 桜	89.48	4	38	4	38	4	1	1
	グループ計(5)	71.05		219	22	226	22	8	1
伊 勢 ・ 鳥 羽 ・ 志 摩	伊 勢	85.98	4	61	0	62	0	1	0
	鳥 羽	87.36	3	30	4	32	4	2	0
	伊 勢 南	91.33	4	43	0	43	0	1	1
	志 摩	74.05	4	48	11	49	12	2	1
	伊 勢 中央	92.60	4	50	0	49	0	0	1
	伊 勢 度 会	97.77	3	15	4	15	4	0	0
	グループ計(6)	88.18		247	19	250	20	6	3
三重県合計 (33)	83.66		1,374	95	1,418	100	66	22	
地区合計 (75)	83.06		3,131	156	3,223	170	155	63	

■ 2018年2月(前年度)出席報告

	出席率	期首	月末	うち女性	増減
岐阜県合計 (43)	83.10	1,747	1,797	59	50
三重県合計 (33)	84.77	1,339	1,396	97	57
地区合計 (76)	83.83	3,086	3,193	156	107

(注) グループ、県、地区の出席率は全てクラブ数で計算した。

グループ	クラブ	出席率	例会数	会 員 数				期首からの増減	
				期首	うち女性	月末	うち女性	増	減
岐 阜 A	岐 阜	87.53	4	83	0	85	0	6	4
	岐 阜 西	81.27	4	52	0	53	0	1	0
	岐阜長良川	92.19	3	49	0	50	0	1	0
	岐 阜 北	90.00	3	30	1	35	3	5	0
	岐 阜 中	85.71	3	26	1	28	1	2	0
	グループ計(5)	87.34		240	2	251	4	15	4
岐 阜 B	岐 阜 南	74.31	4	100	8	97	9	2	5
	岐 阜 東	81.52	4	48	1	50	2	4	2
	岐阜東南	74.62	3	38	0	38	0	1	1
	岐阜加納	79.49	4	70	2	76	3	6	0
	岐阜エトス	64.81	3	20	2	20	2	0	0
	岐 阜 城	96.30	4	15	0	16	0	1	0
グループ計(6)	78.51		291	13	297	16	14	8	
岐 阜 西 濃	大 垣	78.60	3	85	0	89	2	4	0
	大 垣 西	90.61	3	75	0	77	0	4	2
	本 巢	89.64	3	30	0	29	0	0	1
	羽 島	84.35	4	28	4	30	4	2	0
	不 破	98.39	4	30	0	31	0	1	0
	大 垣 中	93.55	3	42	0	49	0	7	0
	大垣センチュリー	79.59	3	49	1	54	2	5	0
	岐阜淡墨	100.00	3	15	1	14	1	0	1
	岐阜サンリバー	87.04	3	20	4	19	3	0	1
	グループ計(9)	89.09		374	10	392	12	23	5
岐 阜 東 濃	多 治 見	79.75	4	49	3	48	3	2	3
	中 津 川	82.19	4	74	2	73	2	1	2
	瑞 浪	80.58	4	57	1	57	1	0	0
	恵 那	72.91	3	45	1	50	1	7	2
	土 岐	92.68	3	41	1	42	1	1	0
	多 治 見 西	82.75	4	33	4	33	4	2	2
	中津川センター	78.47	3	48	1	49	1	2	1
	多治見リバーサイド	85.35	4	40	1	40	1	1	1
	グループ計(8)	81.84		387	14	392	14	16	11
	東 海 北 陸 道	美 濃	77.17	4	27	0	23	0	0
各 務 原		63.00	4	24	0	25	1	3	2
関		100.00	3	50	2	49	2	0	1
郡上八幡		92.95	4	40	0	39	0	0	1
関 中 央		72.50	4	32	0	32	0	2	2
郡上長良川		69.70	4	33	6	33	6	1	1
各務原中央		61.54	4	27	2	27	2	0	0
各務原かかみの		70.56	4	10	2	10	2	0	0
グループ計(8)		75.93		243	12	238	13	6	11
濃 飛		高 山	80.82	4	41	0	44	0	3
	下 呂	86.37	2	22	0	22	0	0	0
	高 山 西	87.50	3	40	0	40	0	1	1
	美濃加茂	77.91	4	37	7	42	7	6	1
	可 児	79.03	2	27	0	31	1	4	0
	高 山 中央	85.46	3	55	3	56	3	1	0
グループ計(6)	82.85		222	10	235	11	15	2	
岐阜県合計 (42)	82.59		1,757	61	1,805	70	89	41	

2019年2月分

入会会員

鈴鹿ペイ RC



森田英治
2019.2.1 入会
農業

上野 RC



福森直樹
2019.2.5 入会
旅行業

津北 RC



青山春樹
2019.2.7 入会
不動産賃貸

津北 RC



原田浩伸
2019.2.7 入会
総合設備工事

岐阜 RC



岡島康彦
2019.2.22 入会
請負業

土岐 RC



カトガイドギト
2019.2.4 入会
中古車配布

各務原 RC



岩田依子
2019.2.1 入会
貴金属小売業

各務原 RC



左高 洋
2019.2.1 入会
電気工事業

逝去会員 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

岐阜南 RC



竹腰兼壽

1975. 8.28 入会
2019. 2.11 逝去

2004-05 地区ガバナー、2009-11 財団 ARRFC、2012・2014・2016 地区大会 RI 会長代理、2013-15 恒久基金 / 大口寄付アドバイザー、2015-17 財団地域コーディネーター、2011-17 規定審議会代表議員、メジャードナー、アーチ・克蘭フ・ソサエティ、米山功労者メジャードナー

郡上八幡 RC



遠藤主税

1996. 6. 1 入会
2019. 2.13 逝去

2011-2012 年度会長

3月号 訂正

P11 入会会員 鈴鹿 RC

【誤】 荻田愛己

【正】 荻田愛弓



【表紙】 宵宮 —岐阜まつり—

撮影者 橋本 哲也

神輿が登場し、祭りがクライマックスを迎える岐阜まつり
宵宮でのワンシーンを撮影しました。

2019年 会長エレクト研修セミナー(PETS)開催

時:2019年3月9日(土)

於:三重県津市 ホテルグリーンパーク津



平成最後の、会長エレクト研修セミナー(PETS)が三重県津市において開催されました。

ロータリー活動の主役である地区内75クラブの会長エレクトをお招きし、木村静之ガバナーを初め、パストガバナー、次期ガバナー補佐、次期地区委員長に出席頂き、内容の濃い研修セミナーを行うことができました。

第1セッションでは、次期マローニーRI会長の、テーマ『ロータリーは世界をつなぐ』のメッセージ映像を見た後、辻正敏ガバナーエレクトより、第2630地区のテーマ『総天然色』と活動方針が熱く語られました。第2セッション以降、パストガバナーからロータリーの根幹となる活動の内容・理念の講義を頂きました。第6セッションでは、次期地区委員長より各委員会活動の説明がされました。いずれも熱意ある話に、クラブの活躍を祈る気持ちが込められていました。すべての研修終了後、辻ガバナーエレクトから各会長エレクトに修了証が直接手渡されました。また、懇親会ではグループごとにテーブルを囲み、交流と意見交換が行われました。次年度に向けて、大きな一歩となる1日となりました。

2018-2019年度 地区事務所・ガバナー事務所 案内

URL <https://www.rid2630.jp/>

地区事務所	〒500-8212 岐阜県岐阜市日野南3丁目5-16 TEL 058-248-9724 FAX 058-248-9725 E-mail branch@rid2630.org	執務時間 9:30~17:30 (土・日・祝日 休務)
ガバナー事務所	〒502-0817 岐阜県岐阜市長良福光2695-2 岐阜都ホテル3階 TEL 058-210-2630 FAX 058-210-2631 E-mail 1819@rid2630.org	執務時間 10:00~15:00 (土・日・祝日 休務)